

會議に發展せしめ、それと同時に、内部に産業別整理の機關を設けて積極的の活動を促進すること。

理由

本提案の理由は別項「全國労働内部に於ける産業別組合組織實現の方針確立の件」に關聯するものであるから、その大要だけをまともておく。

一、我が全國労働は創立以來、労働組合戦線の統一の基準を名實相伴ふ全國的産業別組合の確立と之を基礎とする強力なる全國的同盟體の結成に置かなければならないと聲明してゐる。今日の我が國の労働運動界には、腹と行動では繩張主義と分裂主義を首途に守りながら、口先だけで合同と統一を叫ぶ指導者が可成り多くあることを認める。だが、今日組合戦線統一は口先の問題ではなく實力と相伴ふ具體的の方策を明示するにある。そして、この點に於ては我が全國労働の占める地位と主體としてつ實力とは、幸にそれらの具體方策を遂行するに好都合な立場である。これが我等の組合戦線統一運動の上に於いて占める役割の特に重要な根據である。

二、我が全國労働の組織は、大衆の日常經濟利害の一致を出發點とする大衆的組織であり、労働組合發生期に於ける一切の労働者の團結、地方的産業別組合、全國的産業

別組合、職業別組合、地方的組合等を包含する」ものが極めて難多な構成内容をもつてゐる。これは現下の我が國の労働組合の發展状態からして當然のことではむを得ないものであるが、この組織方針は常に全國的産業別組合の確立に協力することを以て一貫する」ことが必要である。従つて、この方針によつて内部的の産業別整理を斷行すれば、同盟内部に於ける闘争實力ある全國的乃至は地方的産業別組合の確立を促すのみならず、それが必然に全體的同種同様の組合との協力合同を刺戟する拍車となる。

三、次に、全國労働以外の労働團體との合同、労働組合戦線統一方法については、從來近頃の指導精神をもつ團體間の合同及び共同闘争はしばしば行はれて來たので、今日の労働組合戦線の統一運動は動もすれば大右翼結成、大右翼結成の如く左右兩翼にはつきり別れてなされるものであるかの如き誤つた見解が行はれてゐる。しかし、我が全國労働は、かゝる大右翼結成又は大右翼結成の如きは、左右兩翼の分裂主義の變形であると批判する。かゝる統一理論と行動は、結果に於ては大衆的團體を對立状態に固定せしめ、徒らに組合戦線の分裂と混亂を合理化するに過ぎない。然るに、我が全國労働は、只、俾座なりの單一組合戦線の組織をいふかといふに然らず、

今や社民、大衆兩黨の合同はファウツシヨ粉碎の闘争に結びついて全國各地の同志諸君の熱狂的な支持のもとに押し進められつゝある。我等は兩黨の階級的な統一合同をより勢力的に遂行する統一のみが一切のファウツシヨ的傾向を抑止し階級的に奪還し得る事を信ずる。

實行方法

一、大阪聯合會及び同盟本部に一任する事。

（三）支那侵略反對闘争の件

提案 本部理事會
説明 井上良二

主文

世界帝國主義者の重壓と搾取下にある支那プロレタリアートの解放を支持するために、隣國プロレタリアートの立場から列強帝國主義の支那侵略に絶対反對す。

理由

今や世界.....

我等は單一産業別組合の確立を通じての全國的同盟の結成を主張する。資本の攻勢が産業合理化の進展と共に益々産業戦線に添ふて職場の大衆にのしかつて來るとき我等の組合戦線統一方針のみが、一切の分裂主義的障礙を破壊するのである。我等は、上述の如き趣旨に基いて全國的産業別組合の確立に協力する團體を糾合して全國的協議機關を組織せしめるものである。

四、日本労働俱樂部は今日漸く成立を見たのみで、この機能使命などに至つては、その關與團體相互の間にも尙充分な試験と歩調の一致を見るまでに至つてゐないが、俱樂部を活用することによつて、大右翼結成を阻止粉碎しまた大左翼結成の誤謬を清算することを期してゐる。我等は俱樂部が指導精神（政治的意見）の對立を離れて共通問題を處理し、廣く未加入の有力團體を参加せしめ、全國的労働組合會議の形態に發展するやうに努力すると共に、こゝに参加する労働團體の産業別整理を促進するやうに、積極的に努力することが必要である。大右翼結成を實踐的に粉碎して全労働組合戦線統一を促進するためにはこの方策を輕視することは出来なす。

以上我等は組合戦線の統一に關する具體的方針をのみ述べたのであるが、勿論政治戦線の統一を輕視したのではな